

平成 23 年 9 月 12 日
ポーラ化成工業株式会社
代表取締役社長 岩崎 泰夫

当社の節電への取り組みについて

ポーラ化成工業(株)横浜研究所では研究開発活動の維持を図りながら横浜研究所管内事業所における本年7～9月の最大使用電力を、昨年同時期の最大使用電力(914 kwh)に対し、25%削減を目標としながら、15%以上の削減をお約束してまいりました。

このたび、政府からの節電要請期間(電力の使用制限期間)が、9月9日迄に短縮されることとなりましたので、使用制限期間の節電状況のご報告と今後の取り組みについてのご連絡をさせていただきます。

1. 使用制限期間の節電状況について

横浜研究所管内事業所におきまして、最大使用電力の前年比25%削減を全日程を通して達成することができました。

2. 9月10日以降の取り組みについて

この2ヶ月余りの取り組みを通して、当社従業員には創意工夫で無駄を廃し、地球環境を守っていこうという意識が高まってまいりました。

使用制限期間は終了となりましたが、当社におきましては「節電要請対応」から「環境保護・省エネ」の考えに軸足を移し、今後とも25%削減の目標を継続してまいります。